



たんぽぽぐみ



たんぽぽ組での生活にも慣れてきた子どもたち。朝はママと離れると、まだ泣いてしまう子もいますが、外へ出ると元気いっぱい、三輪車に乗ったり、探索をして歩いたり、保育者が、園庭にいる虫を見つけて「アリがいるよ」と言うと、『なに?』と集まって覗き込んでいます。動くアリを見ては、驚いて「こわい!」と後退りする子もいれば、興味津々に指で『つんつん』と触れる子、幼児組の友だちが捕まえたダンゴムシをバケツに入れて見せてくれると、皆で覗いては、丸くなったダンゴムシが動き出すのを不思議そうに見ていました。



✧手洗い✧

手洗い指導で、【さんじょう てあらいかめん】の紙芝居を読んでもらいました。見ながら手をゴシゴシとしている子もいました。少しずつ生活の流れがわかり戸外から戻ると、進んで手を洗おうとする子もいます。石鹸を手のひらに出して「ゴシゴシ」と言いながら洗っています。



✧てんとうむし✧

てんとう虫の点々をシールで貼りました。高月齢の子は「もっと」と言ってシール貼りを楽しんでいました。低月齢の子は、台紙からシールを半分剥がしてあげると、つまんで取っています。貼ることのできなかつた子も、一緒に何度か試してみても、わかると貼っていました。フラワー紙を皆で丸め、大きな模造紙の両面テープのところにつけました。剥がすことが楽しかったようで、付けては取っていました。

